

# 「悔いのないプレー」

## 全国大会へ意気込み

### 下松ジュニアソフトテニスクラブ2人

秋田県で開かれる全日本小学生ソフトテニス大会（日本ソフトテニス連盟主催）に、下松ジュニアソフトテニスクラブに所属する

選手2人が県代表として出場する。20日、市役所を訪れ、国井益雄市長に健闘を誓った。

翔真君（12）と同5年の田中碧空君（10）。5月に周南市であった県予選にペアを組んで個人戦（ダブルス）に出場し、男子の部で優勝を果たした。

2人と水本隆行監督らが市役所を訪問。2人はペアを組んで3年ほどで、国井君は「声を出しながらプレーを鼓舞していくことが自分たちの持ち味。その姿勢を生かして力を発揮したい」、田中君は「悔いのないプレーをしたい」と意気込んだ。

大会は28～31日にある。2人は県予選個人戦で上位に入った4ペアで編成する県代表のチームに入り、団体戦にも出場する。クラブは地元の恋ヶ浜緑地庭球場を拠点としている。

（土屋裕樹）



全国大会での健闘を誓う国居翔真君（右）と田中碧空君（左）、下松市役所

第三種郵便物認可